

～ 今月の図書案内 ～

新年あけましておめでとうございます。
 年末年始はどのように過ごしましたか。緊急事態宣言が発令された状況の中、家で過ごす時間が増えるので、ぜひ図書館でたくさん本を借りて読んでください。

★今月の新着おすすめ本



「レオナルド・ダ・ヴィンチを探して」 ロバートソン、チャールズ【解説】

イタリアに生まれ「モナ・リザ」を描いた有名な画家レオナルド・ダ・ヴィンチ。彫刻家、発明家。他に解剖学、建築と様々な分野で成果を残す。発想が先行して数々の失敗があり、絵も未完成が多い。それでも賞賛されるのはなぜなのか？ 才能に魅入られた人々の資料から浮かび上がってきます。

「もろくて、不確かな、『素の自分』の扱い方」 細川 貂々

ネガティブ思考の著者は漫画が売れても自分に自信がない。その原因が「素の自分」を大事にしていない、と精神科医に指摘され、ダメな自分も認めようと試行錯誤する。素の自分はいびつで、はかない存在。だからとっても愛おしい。長く付き合う自分だから、ゆっくり、ゆっくり好きになってほしい。自分を肯定し、自信をつける実践的ヒントも満載。



「さよなら願いごと」 大崎 梢

琴美の家に子どもたちの謎を解決してくれる青年がやってくる。祥子は想い人から、思いもよらぬ相談を持ちかけられ、沙也香は学校新聞を作る取材中、大人たちの「不都合な真実や秘密」を掘り起こす。それぞれの謎を追いかけると、意外なつながり、意外な真相。ついミスリードされ、ハラハラし、読みきると鮮やかに紡がれた長編ミステリーに感服。



「みんなの民俗学 ヴァナキュラーってなんだ？」 島村 恭則

今まで、田舎の風習を研究するだけの学問と思われてきた民俗学を「ヴァナキュラー（俗を意味する英語）」をキーワードとして用いながら、幅広い民俗学の世界を紹介しています。わが家のルールやB級グルメ、去年ブームになった「アマビエ」など様々な分野を調査対象にした興味深い内容です。



「ノン・サラブレッド」 島田 明宏

明治時代にオーストラリアから競走馬として輸入された中に、牝馬(メス)ミラがいた。圧倒的な強さだったが血統書がなかったために、子孫は非サラブレッドとされる。197×年代、202×年代と馬に賭ける人々の中で血統書が浮上するが…。一頭の馬に寄せる思いから起こるミステリー。



月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館時間 8:35～16:45 (色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります)

★図書館からのおすすめ本